

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様をさがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディボーションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

ディーゴ ガイド



2025.7.7-13

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディボーションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

89:38 しかしあなたは拒んでお捨てになりました。あなたは激しく怒っておられます。あなたに油注がれた者に向かって。
89:39 あなたはあなたのしもべとの契約を廃棄し彼の王冠を地に捨てて汚しておられます。
89:40 あなたは彼の城壁をことごとく打ち壊しその要塞を廃墟とされました。
89:41 道行く者はみな彼から奪い取り彼は隣人のそしりの的となっています。
89:42 あなたは彼の仇の右手を高く上げ彼の敵をみな喜ばせておられます。
89:43 しかもあなたは彼の剣の刃をさやに戻し彼が戦いに立てないようにしておられます。
89:44 あなたは彼の輝きを消し彼の王座を地に投げ倒されました。
89:45 あなたは彼の若い日を短くし恥で彼をおおわれました。セラ
89:46 いつもでですか。【主】よ。あなたがどこまでも身を隠されあなたの憤りが火のように燃えるのは。
89:47 心に留めてください。私の生涯がどれほどかを。あなたがすべての人の子らをいかにむなししいものとして創造されたかを。
89:48 生きていて死を見ない人はだれでしょう。だれが自分自身をよみの手から救い出せるでしょう。セラ
89:49 主よあなたのかつての恵みはどこにあるのでしょうか。あなたは真実をもってダビデに誓われたのです。
89:50 主よみこころに留めてください。あなたのしもべたちの受ける恥辱を。私が多くの国々の民をすべてこの胸にこらえていることを。

89:51 【主】よあなたの敵どもはそしりました。あなたに油注がれた者の足跡をそしったのです。

89:52 【主】はとこしえにほむべきかな。アーメン、アーメン。

ダビデへの約束が成就したように、主は反逆の民イスラエルをも回復させていただきました。しかしこの歌のときは、まだ回復の兆しが見えないままです。その中で詩人は、主への切実な祈りをささげています。

段落の順に、現在のイスラエルの悲惨(38-45)、主への祈り求め(46-51)、主への賛美(52)が歌われています。

ここでは希望が見えない思いで主に祈っていますが、私たちはこの後に主が回復を与えてくださったことを知っています。すなわち希望はまだ見えていなくとも、現実には希望が存在していたのです。それも世界を動かすほどの主のみわざです。

私たちも希望が見えないときには、主の「怒っておられる」ことや「廃棄」を感じるでしょう。そして「いつまでも身をお隠しになるですか」と言いたくなるでしょう。そのように祈っても良いので、この詩篇があるのです。

そしてそのような祈りの先に、ダビデへの主の約束の成就、イスラエルの回復が思い起こされることでしょう。まずは祈りましょう。信仰が完成されて様な祈りでなければならぬ…ということはありません。この詩篇のような祈りをも経験させてくださる主の深いみ旨を感じ取りつつ、主のご計画のすばらしさを想像してみましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



8日 火曜

テモテ I



そうなのであって、私はその福音を委ねられたのです。

教会の土台が揺らぐ原因の一つが、間違った教えです。たとえばエペソの教会には「空想話と系図」を根拠に、自論を主張する者がいたようです。よく聖書を知らないで、自分が教会の有力者になろうとすると、陥りやすいことです。

パウロは教会には指導者が必要だと感じて、テモテを任命しましたが、それは単に議論に勝つためではありません。「きよい心と健全な良心と偽りのない信仰から生まれる愛」が目標なのです。私たちが教会生活が愛をもたらすことを一番に考えましょう。

また間違った教えはイエス様の愛を損なうものであることが分かります。そして正しい教えはイエス様の愛を実現するものでなくてはなりません。教会など共同体の中で何か問題や課題があるとき、何よりもイエス様の愛が実現するかを忘れないで、判断しましょう。そして正しい福音理解の上に成り立つ結論に導かれるように、判断しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

1:1 私たちの救い主である神と、私たちの望みであるキリスト・イエスの命令によって、キリスト・イエスの使徒となったパウロから、1:2 信仰による、真のわが子テモテへ。父なる神と私たちの主キリスト・イエスから、恵みとあわれみと平安がありますように。

1:3 私がマケドニアに行くときに言ったように、あなたはエペソにとどまり、ある人たちが違った教えを説いたり、

1:4 果てしない作り話と系図に心を寄せたりしないように命じなさい。そのようなものは、論議を引き起こすだけで、神に委ねられた信仰の務めを実現させることにはなりません。

1:5 この命令が目指す目標は、きよい心と健全な良心と偽りのない信仰から生まれる愛です。

1:6 ある人たちはこれらのものを見失い、むなししい議論に迷い込み、

1:7 律法の教師でありたいと望みながら、自分の言っていることも、確信をもって主張している事柄についても理解していません。

1:8 私たちは知っています。律法は、次のことを知っていて適切に用いるなら、良いものです。

1:9 すなわち、律法は正しい人のためにあるのではなく、不法な者や不従順な者、不敬虔な者や罪深い者、汚れた者や俗悪な者、父を殺す者や母を殺す者、人を殺す者、

1:10 淫らな者、男色をする者、人を誘拐する者、?をつくる者、偽証する者のために、また、そのほかの健全な教えに反する行為のためにあるのです。

1:11 祝福に満ちた神の、栄光の福音によれば、



9日 水曜

テモテ I



1:12 私は、私を強くしてくださる、私たちの主キリスト・イエスに感謝しています。キリストは私を忠実な者と認めて、この務めに任命してくださったからです。

1:13 私は以前には、神を冒[?]する者、迫害する者、暴力をふるう者でした。しかし、信じていないときに知らないうちにしたことだったので、あわれみを受けました。

1:14 私たちの主の恵みは、キリスト・イエスにある信仰と愛とともに満ちあふれました。

1:15 「キリスト・イエスは罪人を救うために世にいられた」ということは真実であり、そのまま受け入れるに値するものです。私はその罪人のかしらです。

1:16 しかし、私はあわれみを受けました。それは、キリスト・イエスがこの上ない寛容をまず私に示し、私を、ご自分を信じて永遠のいのちを得ることになる人々の先例にするためでした。

1:17 どうか、世々の王、すなわち、朽ちることなく、目に見えない唯一の神に、誉れと栄光が世々限りなくありますように。アーメン。

1:18 私の子テモテよ。以前あなたについてなされた預言にしたがって、私はあなたがこの命令を委ねます。それは、あなたがあの預言によって、信仰と健全な良心を保ち、立派に戦い抜くためです。

1:19 ある人たちは健全な良心を捨てて、信仰の破船にいました。

1:20 その中には、ヒメナイとアレクサンドロがいます。私は、神を冒[?]してはならないことを学ばせるため、彼らをサタンに引き渡しました。

パウロは自分について語るとき、自慢するようなことは一切ありませんでした。むしろ過去の失敗について話す傾向があります。それも「罪人のかしら」というように明白な表現で、話を濁したりしません。それは自分自身を「人々の見本に」して、神の「寛容を」示すためです。

このように主の栄光を真っ先に求める人によって、尊いみわざは進んでいきます。自分を誇ったり、美化したりする人には主の栄光は無縁ですし、結局そのうちボロが出てしまいます。

ですからパウロが「私は、彼らをサタンに引き渡しました。」と言うとき、それが個人的な感情や事情ではないことが分ります。それが主と教会のために必要であったのです。つまり他の人々を愛するゆえだったのです。

自分本位に気づいて、それを捨てることで、正しい決断をして行きましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



10日 木曜

テモテ I



2:1 そこで、私は何よりもまず勧めます。すべての人のために、王たちと高い地位にあるすべての人のために願い、祈り、とりなし、感謝をささげなさい。

2:2 それは、私たちがいつも敬虔で品位を保ち、平安で落ち着いた生活を送るためです。

2:3 そのような祈りは、私たちの救い主である神の御前において良いことであり、喜ばれることです。

2:4 神は、すべての人が救われて、真理を知るようになることを望んでおられます。

2:5 神は唯一です。神と人との間の仲介者も唯一であり、それは人としてのキリスト・イエスです。

2:6 キリストは、すべての人の贖いの代価として、ご自分を与えてくださいました。これは、定められた時になされた証しです。

2:7 その証しのために、私は宣教者、使徒、そして、信仰と真理を異邦人に教える教師に任命されました。私は真実を言っていて、偽ってはいません。

2:8 そういうわけで、私はこう願っています。男たちは怒ったり言い争ったりせずに、どこでも、きよい手を上げて祈りなさい。

2:9 同じように女たちも、つましい身なりで、控えめに慎み深く身を飾り、はでな髪型や、金や真珠や高価な衣服ではなく、

2:10 神を敬うと言っている女たちにふさわしく、良い行いで自分を飾りなさい。

2:11 女は、よく従う心をもって静かに学びなさい。

2:12 私は、女が教えたり男を支配したりすることを許しません。むしろ、静かにしていな

さい。

2:13 アダムが初めに造られ、それからエバが造られたからです。

2:14 そして、アダムはだまされませんでした。女はだまされて過ちを犯したのです。

2:15 女は、慎みをもって、信仰と愛と聖さにとどまるなら、子を産むことによって救われます。

「すべての人が救われて、真理を知るようになる」ために、私たちは祈る必要があります。

「王」などこの世を動かす人々のためにも祈るべきです。それは彼らが真理を知っているからではなく、真理を知るようになるために祈るということです。

ですから賛成できないような政府のためにも、尊敬できないような上司や経営者のためにも祈るということです。彼らに「怒ったり言い争ったりする」のではなく、祈るのです。

男女の違いもまた気をつける必要があります。特に男性は争うことをしやすいので、気をつけるようにしなさいということでしょう。

女性は安心かというところでもなく、「女はだまされて過ちを犯したのです。」とありますから、男性と同じく自戒しなさいということです。

「子を産むことによって救われます。」とは解釈が難解な部分ですが、これはエバの実例から語っているようです。エバはまさに子を産むことで「神が…与えてくださった。」とその恵みを再認識しました。もちろん出産の経験のない女性も、また男性も、救われるのですが、女性の傾向としてはそのような人が多いということです。

男性も女性も、それぞれの特質を感謝し活かしつつも、その弱さや短所を謙遜に知って、救いを補完し合う人格へと変えられて行きましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



11日 金曜

テモテ I

3:1 次のことばは真実です。「もしだれかが監督の職に就きたいと思うなら、それは立派な働きを求めることである。」

3:2 ですから監督は、非難されるところがなく、一人の妻の夫であり、自分を制し、慎み深く、礼儀正しく、よくもてなし、教える能力があり、

3:3 酒飲みでなく、乱暴でなく、柔和で、争わず、金銭に無欲で、

3:4 自分の家庭をよく治め、十分な威厳をもって子どもを従わせている人でなければなりません。

3:5 自分自身の家庭を治めることを知らない人が、どうして神の教会を世話することができるでしょうか。

3:6 また、信者になったばかりの人であってはいけません。高慢になって、悪魔と同じさばきを受けることにならないようにするためです。

3:7 また、教会の外の人々にも評判の良い人でなければなりません。嘲られて、悪魔の罠に陥らないようにするためです。

3:8 同じように執事たちも、品位があり、二枚舌を使わず、大酒飲みでなく、不正な利を求めず、

3:9 きよい良心をもって、信仰の奥義を保っている人でなければなりません。

3:10 この人たちも、まず審査を受けさせなさい。そして、非難される点がなければ、執事として仕えさせなさい。

3:11 この奉仕に就く女の人も同じように、品位があり、人を中傷する者でなく、自分を制し、すべてに忠実な人でなければなりません。



3:12 執事は一人の妻の夫であって、子どもと家庭をよく治める人でなければなりません。

3:13 執事として立派に仕えた人は、良い地歩を占め、また、キリスト・イエスを信じる信仰について、強い確信を持つことができるのです。

監督とはクリスチャンの中の指導者で、並みいる牧師や教会を指導する場合もあれば、クリスチャンのリーダーという場合も考えられるでしょう。その指導人数の多さではなく、霊的な指導者であるという尊い働きを思えば、「それは立派な働き」です。

各教会の牧師や役員、またリーダーなどここにあるような資質が求められています。それは男性だけの仕事ではなく、女性も「婦人執事」として奉仕するというのが、聖書的な男女平等の考え方です。

監督は指導者ですが、イエス様のように仕える謙遜が必要で、ここにある執事もまた仕える心が必要です。

教会の奉仕はどれも救いにつながる重要なものですから、自分自身を吟味して、少しでもふさわしい者となって、謙遜に仕えましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



➤ 12日 土曜

テモテ I



3:14 私は、近いうちにあなたのところに行きたいと思いながら、これらのことを書いています。

3:15 たとえ遅くなった場合でも、神の家でどのように行動すべきかを、あなたに知っておいてもらうためです。神の家とは、真理の柱と土台である、生ける神の教会のことです。

3:16 だれもが認めるように、この敬虔の奥義は偉大です。「キリストは肉において現れ、霊において義とされ、御使いたちに見られ、諸国の民の間で宣べ伝えられ、世界中で信じられ、栄光のうちに上げられた。」

4:1 しかし、御霊が明らかに言われるように、後の時代になると、ある人たちは惑わす霊と悪霊の教えとに心を奪われ、信仰から離れるようになります。

4:2 それは、良心が麻痺した、偽りを語る者たちの偽善によるものです。

4:3 彼らは結婚することを禁じたり、食物を断つことを命じたりします。しかし食物は、信仰があり、真理を知っている人々が感謝して受けるように、神が造られたものです。

4:4 神が造られたものはすべて良いもので、感謝して受けるとき、捨てるべきものは何もありません。

4:5 神のことばと祈りによって、聖なるものとされるからです。

パウロは「神の家（教会）でどのように行動すべきか」を書き送りました。もちろんこの世での行動も大切ですが、神との接点である教会は第一に大切なものです。永遠の救いと真理がそこにあるからです。

ですから教会から離れる人は、神様から離れるといっても過言ではないでしょう。もちろん神様の愛の手は伸べられています、それを素通りしてしまう生き方と言えます。

また教会では教えられている内容が非常に重要で、救いの教理も大切です、救われた者の実生活についても大切です。ここでは「結婚を禁じたり」「食物を断つことを命じたり」と、その間違いの例が記されています。

神の家である教会に集い続け、神様の福音の真理に生きて、「真理の柱また土台」を築き上げて行きましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



4:6 これらのことを兄弟たちに教えるなら、あなたは、信仰のことばと、自分が従ってきた良い教えのことばで養われて、キリスト・イエスの立派な奉仕者になります。

4:7 俗悪で愚にもつかない作り話を避けなさい。むしろ、敬虔のために自分自身を鍛錬しなさい。

4:8 肉体の鍛錬も少しは有益ですが、今のいのちと来たるべきいのちを約束する敬虔は、すべてに有益です。

4:9 このことばは真実であり、そのまま受け入れるに値するものです。

4:10 私たちが労苦し、苦闘しているのは、すべての人々、特に信じる人々の救い主である生ける神に、望みを置いているからです。

4:11 あなたはこれらのことを命じ、また教えなさい。

4:12 あなたは、年が若いからといって、だれにも軽く見られないようにしなさい。むしろ、ことば、態度、愛、信仰、純潔において信者の模範となりなさい。

4:13 私が行くまで、聖書の朗読と勧めと教えに専念しなさい。

4:14 長老たちによる按手を受けたとき、預言によって与えられた、あなたのうちにある賜物を軽んじてはいけません。

4:15 これらのことに心を砕き、ひたすら励みなさい。そうすれば、あなたの進歩はすべての人に明らかになるでしょう。

4:16 自分自身にも、教えることにも、よく気をつけなさい。働きをあくまでも続けなさい。そうすれば、自分自身と、あなたの教えを聞く人たちとを、救うことになるのです。

年の若い指導者であるテモテに、パウロが具体的なアドバイスを送っています。テモテよりも人生経験の長いクリスチャンはいたでしょうが、パウロはテモテを指導者に任じました。主の働きは年齢ではなく、「信仰のことばと、…良い教えのことばで養われて」いることが大切なのです。もちろんこれは年配者でも同じです。このような養いに目を留めて、大切にしていきたいでしょう。

信仰には「鍛錬」も必要です。救われたのだからそれでいい…というのではなく、成長のために努力しましょう。みことばから勧められることはやってみましょう。また自分は自分のままでいいからチャレンジはしない…というのでもなく、努力しましょう。

鍛錬ですから、それは実践をすることによる成長です。敬虔とは神様の思いで生きることです。祈ることがその御思いを受け止める道です。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

